

- とやまの森づくりを支える人づくりなどの推進 -

県産材利用促進事業

とやまの森づくりにつながる県産材利用への理解を深めるため、県産材を使った木製品の設置や公共施設の木質化を進めます。

平成19年度事業の実績

(1) 県産材くつろ木事業

公共施設、公共交通機関に県産スギで製作したベンチを設置しました。

・設置数 公共交通機関 22基 公共施設 138基

(2) 森の玉手箱プレゼント事業

県内全ての幼稚園、保育園や児童・福祉施設等に県産材積木を配布しました。

・配布施設数 591施設(1200セット)

(3) 県産材こどもの城づくり事業

園児のデザインによる木製遊具を親子の協力により製作・設置するとともに、親子による森の見学会を開催しました。

・実施施設数 4施設(青雲幼稚園 みつば幼稚園 牧野幼稚園 井波第一保育園)

(4) 森に親しむ学び舎づくり事業

小学校の学童机天板を県産材天板に置換えました。

・実施小学校数 4校(広田小学校 上滝小学校 横田小学校 津沢小学校)

(5) 木の香るまちづくり事業

公共施設の内装の木質化に支援しました。

・実施施設数 2施設(めひの野園 ルンビニ園)

(6) 県有施設木質化事業

県有施設の整備の際に県産材を使用しました。

・実施施設数 2施設(山室交番 女性相談センター)

(7) 県産材利用シンボルマーク募集事業

県産材を広くPRするためのシンボルマークを制定しました。



県産材シンボルマーク



駅の待合室などに県産材ベンチを設置しました。



県下全ての幼稚園、保育所等に県産材の積木を配布しました。

県産材利用促進事業

1 事業の実施と利用状況（平成20年6月現在）

（1）県産材くつろ木事業

公共施設、公共交通機関に県産スギで製作したベンチを設置

- ・ベンチコンペ応募数 111点
- ・最優秀賞1点、優秀賞2点、佳作3点選定
- ・ベンチ設置応募数218施設 791基
- ・ベンチ設置数
 - 公共交通機関 5機関 22基
 - 公共施設 107施設 138基
- ・設置時期 10月～3月



（2）「森の玉手箱」プレゼント事業

幼稚園、保育所等に県産材積木を配布

- ・配布先 591施設 1,200セット
- ・配布時期 12月
- ・積木を活用したイベント開催への支援
富山県こどもエコクラブ交流会において県産材積木を活用



（3）県産材こどもの城づくり事業

園児デザインによる木製遊具（こどもの城）を親子の協力により製作・設置

- ・応募施設 4施設
- ・実施施設 4施設
 - 青雲幼稚園（富山市）
 - みつば保育園（高岡市）
 - 牧野保育園（高岡市）
 - 井波第一保育園（南砺市）
- ・実施期間 8～11月



県産材利用促進事業（部会資料）

（４）森に親しむ学び舎づくり事業

小学校学童用机を県産材に置き換え

- ・ 応募小学校 4校
- ・ 実施小学校 4校 1,084枚
 広田小学校（富山市）
 上滝小学校（富山市）
 横田小学校（高岡市）
 津沢小学校（小矢部市）
- ・ 設置時期 12～2月



（５）木の香るまちづくり事業

県内の公共施設等に対して、県産材を使用した内装の木質化に対して支援

- ・ 応募施設 2施設
- ・ 実施施設 2施設
 めひの野園（富山市）
 ルンビニ園（富山市）



（６）県有施設木質化事業

県有施設の新築施設を対象に、県産材による整備を実施。

- ・ 実施施設 2施設
 山室交番（富山市）
 女性相談センター（富山市）



（7）県産材シンボルマーク募集事業

県産材をPRするためのシンボルマークを制定し、県産材製品などに使用

- ・応募数 1,672点
- ・最優秀賞1点、優秀賞3点選定
- ・最優秀賞作品をシンボルマークとして制定し、9月に公表
- ・とやま県産材シンボルマークの使用に関する規程により、利用者への対応を図る



2 評価方法等について

（1）評価方法

- ・県産材製品設置施設の施設管理者などへのアンケート調査を行い、その結果を踏まえ評価する。（アンケート項目は別紙のとおり）
- ・県産材シンボルマークについては、規程にもとづく利用承認件数により評価する。

（2）評価時期

- ・事業実施の年度内にアンケート調査を行い、翌年5月に評価する。
- ・県産材シンボルマークについては、5年経過後に評価する。